

入 選

- | | |
|------------------------------|--------|
| 病んでみて初めてわかる日常の何んでもない日に両手を合わす | 近藤 雅子 |
| アロエの花めづらしく軒に咲く切り傷やけど姑はくすりに | 伊藤 小夜子 |
| 老い二人弁当持ちてゆく花見肩に花受け初恋のよう | 深澤 桂子 |
| ふと思ふ吾が知らぬ間に近寄りてまた離れゆく禍福もあらむ | 佐藤 昇 |
| 子や孫と海へプールへ通った日楽しかった日今走馬灯 | 奥田 悦生 |
| 亡き母の麻の着物に手を通し旅行く吾は暑さを忘る | 谷口 清美 |
| 医者通ひするため生きているのかと思ふ日もあり我れ七十五 | 下条 潔 |